



もろともに

ふるさと探究II

震災ガイドまち歩きで「伝える」を考える



4月24日（金）2学年の探究授業で「震災ガイド&まち歩き」に参加しました。山田町震災伝承ガイドの案内のもと、実際に町を歩きながら震災当時の様子や復興について学びました。ガイドでは、震災直後の写真を用いた説明や、防潮堤の高さを実際に見ながらの解説が行われ、生徒たちは地域の防災について理解を深めました。また、「避難所と避難場所の違いは？」といった問いかけや、聞き手に伝わりやすい話し方など、「伝える工夫」についても学びました。生徒からは「実際に歩くことで震災を身近に感じた」「自分の言葉で伝えることの大切さを知った」といった感想も聞かれました。今後は今回の学びを生かし、震災伝承ガイドや防災パンフレット作成に取り組みます。

ふるさと探究III

山田町の未来を考える



4月30日（木）3学年の探究授業で、まちづくりワークショップを実施しました。山田町役場の皆さんを講師に迎え、生徒たちはグループごとに山田町の課題や理想の姿について発表を行いました。発表後には、町職員の方々から具体的な助言をいただき、実際に地域で行われている取り組みや町の現状について理解を深めました。生徒からは「町の行事に積極的に参加したい」「身近なものも観光資源になると感じた」などの感想が聞かれ、地域の魅力や課題について改めて考える機会となりました。今後は、高校生議会に向けて、今回の学びをもとに探究を深めていきます。

ふるさと探究I

津波碑から学ぶ山田の災害の歴史



5月8日（金）1学年の探究学習で、碑文の読解と津波碑フィールドワークを実施しました。地域の方々の協力のもと、三陸沿岸で繰り返されてきた津波災害の歴史や、碑文に込められた教訓について学びました。生徒たちは大沢方面・大浦方面のコースに分かれ、実際に津波碑を巡りながら、地形や津波浸水区域との関係について理解を深めました。また、石碑が建てられた場所や碑文の内容から、先人たちが後世に伝えようとした思いについて考える機会となりました。「現地で見ることの意味が分かった」「命を守るための思いが込められていると感じた」といった感想も聞かれました。

ボランティア

新入生歓迎！海鮮焼き麺づくり体験



ボランティア有志「やまだわんぴいす」で、新入生を対象とした「山田海鮮焼き麺体験会」を実施しました。今回の体験会には1年生9名が参加し、メンバーと一緒に仕込みから調理まで挑戦しました。食材の準備や焼き方のコツを教わりながら協力して作業を進め、実際に海鮮焼き麺づくりを体験しました。最初は緊張した様子も見られましたが、活動を通して自然と会話も増え、楽しそうな雰囲気の中で交流を深めていました。また、クイズを交えながら「やまだわんぴいす」の活動紹介も行い、地域イベントへの参加や山田町の魅力発信について知ってもらおう機会となりました。会場は終始、笑顔あふれる温かな雰囲気にもまれていました。

